

矢作直樹先生講演会

祈りの国・日本に生きる

祈りが拓く大調和の日本と世界

日本の歴史を縄文から現代まで紐解く時、最も大切な営みが「祈り」であります。日本の歴史とともにある「天皇」のあり方について言えば、その中心的役割は、政治や軍事ではなく、祭祀という祈りであります。また、日本人の民間習俗にも、神社参拝や神棚のお祀りのような身近な実践があります。

そもそも「祈り」とは何か？ 矢作先生が日々の暮らしで実践されるもの、山での感謝の行脚、祈りの国を支える天皇制・憲法・国土を巡る将来の展望など幅広く先生に語っていただきます。皆様と共に日本の祈りを学び、大調和の実現に繋がれば幸いです。調和に満ちた暮らしや人生を築きたい方、これからの日本や地球の礎になりたい方のご参加をお待ちしております。



令和8年 8月24日【月】

時 間 13：30～16：00 （13時より受付開始）

対象者 どなたでもご参加いただけます

参加費 4,000円 当日会場にてお支払いください
中学生以下無料

定 員 100名 （要事前申込）

会 場 立山町防災児童館「アカリエ」
〒930-0221 立山町前沢2385

申 込 QRコードよりフォームにご記入ください

お申込み



矢作 直樹 Naoki YAHAGI
東京大学名誉教授

神奈川県横浜市生まれ。金沢大学医学部にて学ぶ傍ら、プロの登山家を目指し、北アルプスをはじめ山々を踏破。金沢大学卒業後、旧富山医科薬科大学勤務（助手）。麻酔科を皮切りに救急・集中治療、内科、手術部などを経験する。東京大学医学部在職中に執筆した『人は死なない』『おかげさまで生きる』がベストセラーに。「続我が国のこころ塾」主催